

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	勤務上全員が集まって話し合う時間・機会を取り難いため、入居者の情報を共有出来難い。	職員全員で、入居者の情報を共有し、入居者や家族に対して、対応方法が統一できるようにする。	ユニットごとに従来のカンファレンス以外に、時間を決め、全員が集まる機会を月1回作る。議題も厳選し、会議後は、両ユニットで報告を周知しあう。	6カ月
2	25	勤務上、避難訓練に職員全員が参加できない。夜間の避難方法を徹底する。	職員全員が、危機感を持って対応できるようにする。	警報装置や消火機器の使い方を知り、できるようになり、マニュアル化して掲示しておく。独自の避難訓練を行う。	6カ月
3	4	第1回目の運営推進会議を開催した。今後は報告のみに留まらず、話し合いや意見交換等を行ないサービス向上に生かす。	地域へ理解・支援を得るための重要な機会とし、積極的に話し合える交流の場となるよう取り組む。	運営推進委員の方達から、より良い意見が出るように、サービス向上に向けて職員間で話し合い、学び合う機会を持ち具体的な提案ができるようになる。	6カ月
4	6	家族の同意は得ているが、やむを得ず身体拘束を行なっている。	身体拘束をできるだけなくし、見守りで対応できるよう、職員間で身体拘束に対しての正しい理解を深める。	常に入居者に関する情報交換を行ない、協力しあって見守りできる職員同士の意識統一を図る。	6カ月
5	2	平成21年はインフルエンザ流行の為、外部活動を自粛していた。今年は、地域・近隣への行事に参加したい。	地区の夏祭りや小学校の行事等、地区の福祉施設の合同作品展に参加し、創作活動や地域の方との関わりを通して、意欲を持って豊かな生活を送っていただけるようにする。	事前に参加の準備を行ない、入居者様に楽しんでいただけるような計画にして、実施する。	6カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。